

**越前おおの型 食・農業・農村ビジョン推進委員会  
大野市食育推進会議**

**令和7年8月28日**

# 越前おおの型 食・農業・農村ビジョン推進委員会 大野市食育推進会議

## 次第

### 1 報告

(1) ビジョンの取組状況について

### 2 議題

(1) ビジョンの改訂について

- ・農業政策についての国・県・市の動き
- ・改訂スケジュール

(2) アンケート内容について

### 3 その他

# 1 報告

## (1) ビジョンの取組状況について

### ・数値目標

○数値目標

指標	内容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
学校給食で地産産野菜の提供を行った量	学校給食における食材の総使用量(重量)に占める地産食材(市産)の使用量の割合(11月調査)	26.5	24.1	21.5	20.8	19.2	33	%

※大野市内の学校給食における地産地消の取り組み成果を示します。

指標	内容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
地産産野菜を使用している飲食店の割合	地産産野菜を使用している飲食店(注)の割合	-	55.3	44.2	57.9	調査中	100	%

(注)大野農工会議所に飲食店として登録されている店舗(令和4年1月現在37軒)

※大野市内の地産地消の取り組み成果を示します。

指標	内容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
大野市道の駅産直の会農林産品部会加入件数	出荷を目的に農林産物の生産に取り組み農業者及び農業者グループ数	(10月末現在) 126	117	119	122	114	131	件
「うごく八百屋おののさん」参加生産者数(累計)	出荷を目的に農林産物の生産に取り組み農業者数	(10月末現在) 135	135	140	143	144	145	人

※大野市内の農林産物(出荷を目的とする)の生産者数を増やす取り組み成果を示します。

指標	内容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
サイトモの作付面積	サイトモの作付面積	74	72	71	68	65	80	ha

※サイトモの産地としての取り組み成果を示します。

指標	内容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
スマート農業の導入を支援した件数	スマート農業の導入に際し補助を行った件数(累計)	5	5 (5)	9 (4)	14 (5)	21 (7)	30	件

※令和3年度補助件数を基準とし、スマート農業を推進する取り組み成果を示します。

( )内はその年の実績

指標	内容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
福井県特別栽培農産物認証を受けた対象面積	福井県特別栽培農産物認証を受けた対象面積	364	395	361	388	392	420	ha

※環境調和型農業の取り組み成果を示します。

指標	内容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
多面的機能支払交付金事業に取り組み集落数	地域ぐるみで農山村の維持管理に取り組んだ集落数の減少の抑制	101	101	100	101	101	101	集落

※地域ぐるみで行う農山村の維持管理への取り組みへの支援の成果を示します。

指標	内容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和8年度 目標	単位
耕作放棄地の面積	毎年増加傾向にある耕作放棄地の発生の抑制	3.9	1.28	2.45	2.45	2.45	3.6以下	ha

※優良農地の確保への取り組み成果を示します。

# 1 報告

## (1) ビジョンの取組状況について

資料 1 - 2

### ・事業報告

#### 基本施策 1: 生産者、食品関連業者と消費者が連携して地産地消を行います

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
食の生産や流通、消費への関心を高め、地域の農業を応援する地産地消を推進します	おいしい大野米レバルアップ事業 ネットでおやさし発信事業	●市内小中学校の米飯給食に、全量、大野産のコシヒカリやいちほまれを使用した(使用玄米数量(俵 60kg) コシヒカリ 407俵 いちほまれ 103俵) ●令和8年度に食育関連事業を実施するため、令和7年度は事業案を作成中	●市内小中学校の米飯給食に、全量、大野産のコシヒカリやいちほまれを使用した(使用玄米数量(俵 60kg) コシヒカリ 449.53俵 いちほまれ 101俵) ●農業者や農業グループが、地域で採れた旬の野菜などを学校給食の材料として納入できるように県と連携しながら行った ●市内飲食店に対し、大野産農産物を使って料理を提供している飲食店来訪者に大野産農産物の使用をしていることがわかるような名刺サイズのカード配布の協力をいただいた
地域の産業や環境を守るため、食の大切さを知り、自然の恵みや生産者への感謝の心を育みます	大野産野菜応援コンテスト	●「大野産野菜応援コンテスト」については令和5年度にて事業を終了したため、令和6年度は未実施 ●令和8年度に食育関連事業を実施するため、令和7年度は事業案を作成中	●地産地消への意識の醸成や「儲かる農業」を目的に、Instagramを利用して、大野産野菜やその調理方法、食した感想などを写真や動画で投稿してもらい、副賞を進呈するコンテストを開催した(投稿数49件)優秀賞などを受賞した作品を活用し、大野産野菜のPRを行った

#### 基本施策 2: 食にまつわる文化や教育を普及します

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
地域や家庭、学校など「食育」を推進する担い手が、共通の認識を持ち、互いに協力しながら「食育」を実践します	食守フェスタ	●市民全体の「食育」意識を高めることを目的とした担い手の活動を促進し、食に関する活動の紹介や食育の啓発を行うため、食守フェスタを開催し、試食、パネル展示を行った(パネル参加団体11団体、試食提供団体2団体、クイズラリー参加者231名)	●市民全体の「食育」意識を高めることを目的とした担い手の活動を促進し、食に関する活動の紹介や食育の啓発を行うため、食守フェスタを開催し、体験・試食等、パネル展示を行った(パネル参加団体17団体、試食提供団体1団体、体験ブース提供団体2団体、クイズラリー参加者189名)

#### 「農業」分野

#### 基本施策 3: 魅力ある農業経営を実現します

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう支援します	中山間総合対策支援事業 儲かるふくい型農業総合支援事業 小さな農業チャレンジ応援事業 意欲あるふくい畜産支援事業 特産作物生産体制強化事業 誰でも園芸チャレンジ事業 越前おおの型農業推進事業	●地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう農業機械の購入費等を支援した(件数 20件) ●条件不利農地の営農の継続するため、大野市地域農業サポートセンターを通じて認定農業者等のアグリサポーターによる農作業の応援を支援し、小区域農地の営農継続を図った(対象面積 7,715.4a) ●農業用ドローン操縦者育成のため、免許取得や講習受講の費用を支援した(件数 8件)	●地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう農業機械の購入費等を支援した(件数 20件) ●条件不利農地の営農の継続するため、大野市地域農業サポートセンターを通じて認定農業者等のアグリサポーターによる農作業の応援を支援し、小区域農地の営農継続を図った(対象面積 61,657.0a)
新規就農者や後継者の確保と育成に取り組むとともに、就業希望者の受け入れ体制づくりを支援します	新規就農者経営支援事業	●新規就農者や後継者の確保と育成を図るため、国や県の補助を活用しながら新規就農者を支援した(ハード:5件、ソフト4件[うち新規1件、継続3件])。)	●新規就農者や後継者の確保と育成を図るため、国の補助を活用しながら新規就農者を支援した(ハード:2件、ソフト4件[うち新規3件、継続1件])。)
女性や高齢者など、誰もが生き生きと農業経営に参画できる環境づくりを進めます	みんなで園芸チャレンジ事業 越前おおの産農産物加工販売支援事業 越前おおの農林楽舎運営事業	●「みんなで園芸チャレンジ事業」については令和5年度にて事業を終了したため、令和6年度は未実施 ●「越前おおの産農産物加工販売支援事業」については活用実績がなかった ●越前おおの農林楽舎にて、ブルーベリー栽培講座を2回開催した(30人参加)	●女性や高齢者など、誰もが生き生きと農業経営に参画できるよう、新たな園芸作物にチャレンジする生産者に対し種苗の購入や機械の購入について補助金により支援した。(8件) ●農業者の新たな価値の創出のために、農産物を利用した新たな加工品の開発に係る経費を支援した(1件)。
スマート農業の導入による経営の効率化を促進します	中山間総合対策支援事業 儲かるふくい型農業総合支援事業	●スマート農業やデジタル技術の活用を支援するため、国や県の補助金を活用し、スマート農業関連機器の整備を費用面で支援した(件数7件)	●スマート農業やデジタル技術の活用を支援するため、国や県の補助金を活用し、スマート農業関連機器の整備を費用面で支援した(件数5件)

基本施策 4:特色ある越前おの産農林水産物の生産や販売を振興します

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
大野市の気候や風土に合った、農林水産物の生産を促進します	結の故郷特産作物産地ブランド力強化事業 環境保全型農業支援事業 グリーン農業スタート事業	●大野市の気候や風土に合った穴馬スイートコーンや穴馬かぶらなど特産作物の生産を促進するため、出荷奨励金などにより支援した(穴馬スイートコーン13件、穴馬かぶら7件) ●化学合成農業や化学肥料の使用を低減し、生物多様性や環境保全に配慮した取り組みを行う農業者に対して支援を行った(実施者 6団体、44名) ●農業分野におけるゼロカーボンに向けた取組として、バッテリー式刈払機および噴霧器の購入に対して補助金による支援を行った(件数 刈払機39件、噴霧器11件)	●大野市の気候や風土に合った穴馬スイートコーンや穴馬かぶらなど特産作物の生産を促進するため、出荷奨励金などにより支援した(穴馬スイートコーン16件、穴馬かぶら10件) ●化学合成農業や化学肥料の使用を低減し、生物多様性や環境保全に配慮した取り組みを行う農業者に対して支援を行った(実施者 6団体、44名) ●農業分野におけるゼロカーボンに向けた取組として、バッテリー式刈払機の購入に対して補助金による支援を行った(件数 54件)
農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組みます	越前おの農林楽舎運営事業 おいしい穴馬米レバルアップ事業 大野在来そばブランド化推進事業	●農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組みむため、越前おの農林楽舎に委託し、実店舗での販売のほか、市外、県外のイベントやECサイトなどのウェブを活用した情報発信、PR活動に取り組んだ。 ●農産物のブランド力向上を図るため、「越前おの おいしいお米コンテスト」で金賞を受賞した米を越前おの農林楽舎を通じて販売した。 ●そばの消費拡大を目的に開催した「越前おのの新そばまつり」では、二日間で約1万800杯を販売した。	●農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組みむため、越前おの農林楽舎に委託し、実店舗での販売のほか、市外、県外のイベントやECサイトなどのウェブを活用した情報発信、PR活動に取り組んだ。 ●農産物のブランド力向上を図るため、「越前おの おいしいお米コンテスト」で金賞を受賞した米を越前おの農林楽舎を通じて道の駅やハビリン、ECサイトにて他の取り扱い商品に比べて高単価で販売し、好調な売れ行きとなっている。 ●そばの消費拡大を目的に開催した「越前おのの新そばまつり」では、二日間で約1万400杯を販売した。
道の駅「越前おの 荒島の郷」などでの販売、ふるさと納税の送礼品としての活用など多様な販売活動を促進します	越前おの農林楽舎運営事業	●道の駅「越前おの 荒島の郷」や道の駅「九頭竜」での販売、ふるさと納税などを活用して農林水産物の多様な販売活動を展開した。特に越前おの農林楽舎へ出荷され、左記施設等で販売された売上高は6,282万円となり、過去最高となった。	●道の駅「越前おの 荒島の郷」や道の駅「九頭竜」での販売、ふるさと納税などを活用して農林水産物の多様な販売活動を展開した。特に越前おの農林楽舎へ出荷され、左記施設等で販売された売上高は5,820万円となり、過去最高となった。
特産作物をはじめ園芸作物を生産する農業者の育成と連携に取り組みます	誰でも園芸チャレンジ事業 結の故郷特産作物生産体制強化事業 生分解性マルチ普及促進事業	●小規模農家が減少傾向にある中、特産作物を含む園芸作物を生産する農業者の育成と所得の向上、園芸作物の生産拡大を図るため、生産に必要な農業機械の導入に係る経費を支援した(件数 8件) ●重土生産の省力化を図るため、生分解性マルチの導入補助を行った(件数 43件 697本)	●小規模農家が減少傾向にある中、特産作物を含む園芸作物を生産する農業者の育成と所得の向上、園芸作物の生産拡大を図るため、生産に必要な農業機械の導入に係る経費を支援した(件数 13件) ●重土生産の省力化を図るため、生分解性マルチの導入補助を行った(件数 39件 666本)
アユなどの淡水魚の稚魚の放流や養殖を促進します	内水面漁業振興対策事業補助	●アユなど淡水魚の稚魚の放流や養殖を支援することで、漁業協同組合の取り組みを補助金により支援した	●アユなど淡水魚の稚魚の放流や養殖を支援することで、漁業協同組合の取り組みを補助金により支援した

「農村」分野

基本施策 5:多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
若者や女性、非農家による活動など、農山村を守る多様な仕組みをつくります 各種支援制度により、誰もが農業を学び、触れ合える環境を整備します	多面的機能支払交付金事業 中山間直接等直接支払事業 みんなて野菜栽培レバルアップ事業 大野産野菜応援コンテスト(再掲) スターランドさかだに管理運営経費	●農業の有する多面的機能の維持や質的向上を図るため、各種支援制度により農地維持や資源向上などの共同活動や施設の長寿命化対策を支援した。また、持続的かつ活動内容の更なる質の向上を図るため、活動組織の広域化を推進した ※令和6年度活動組織 45組織101集落 ※令和5年度活動組織 47組織101集落 ●中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の維持を図った ●スターランドさかだにて、市民等がそば打ちを体験し、また、大野産のそばを食することができる場所を提供している(利用者数:そば処2,882人、そば打ち体験218人)	●農業の有する多面的機能の維持や質的向上を図るため、各種支援制度により農地維持や資源向上などの共同活動や施設の長寿命化対策を支援した。また、持続的かつ活動内容の更なる質の向上を図るため、活動組織の広域化を推進した ※令和5年度活動組織 56組織101集落 ●中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の維持を図った ●初心者向け園芸栽培講座を2回、果樹栽培講座を1回開催し、誰もが農業を学び、農業に触れる機会を提供した。(延べ58人参加) ●スターランドさかだにを再開し、市民等がそば打ちを体験し、また、大野産のそばを食することができる環境を整えた。
電気柵や電気ネットを設置するなど、地域ぐるみの鳥獣害対策に対し支援します	鳥獣害のない里づくり推進事業	●山際及び河川において電気柵を整備することで、野生鳥獣による農作物の被害を防止する体制整備に向けた支援を行った(新規:1地区、更新:1地区)	●山際及び河川において電気柵を整備することで、野生鳥獣による農作物の被害を防止する体制整備に向けた支援を行った(更新:1地区)

基本施策 6:農地の適切な管理と有効利用を図ります

個別施策名	関連する事業名	令和6年度(実施内容)	令和5年度(実施内容)
農業者の担い手への農地の集約と集積を進めます	農地中間管理事業 農地バトロール	●農業委員会による農地バトロール等を実施することで、耕作放棄地の増加を防止した。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を進め、集積率は80.5%となった。	●農業委員会による農地バトロール等を実施することで、耕作放棄地の増加を防止した。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を進め、集積率は75.8%となった。
各種支援制度により、農地の保全管理に取り組みます	多面的機能支払交付金事業(再掲) 中山間直接等直接支払事業(再掲) 地下水保全対策事業【環境・水循環課】	●冬期間の地下水位低下を緩和することを目的に、地下水涵養地域である小山地区や上庄地区で、10月から2月までの5ヶ月間、水田を借り上げて水田涵水を行っており、令和3年度から40haに拡大した冬期間の水田涵水を令和6年度も実施し、地下水の涵養を図った	●冬期間の地下水位低下を緩和することを目的に、地下水涵養地域である小山地区や上庄地区で、10月から2月までの5ヶ月間、水田を借り上げて水田涵水を行っており、令和3年度から40haに拡大した冬期間の水田涵水を令和5年度も実施し、地下水の涵養を図った

## 2 議題 (1) ビジョンの改訂について 農業政策についての国・県・市の動き

国の動向		
	内容	概要
R6年6月	食料・農業・農村基本法の改正 (P7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 食料安全保障の確保</li> <li>✓ 環境と調和のとれた食料システムの確立</li> <li>✓ 農業の持続的な発展</li> <li>✓ 農村の振興</li> </ul>
R7年4月	食料・農業・農村基本計画の 閣議決定 (P8～9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 農業経営の「収益力」を高め、農業者の「所得を向上」 ※水田政策の根本的見直し (R9年度～)</li> <li>✓ 「国民一人一人の食料安全保障」の確保</li> <li>✓ 「食料システム全体で環境負荷の低減」を図る</li> <li>✓ 「総合的な農村振興」、「きめ細やかな中山間地域等の振興」</li> </ul>
R7年7月	米穀需給及び価格の安定に 関する基本方針の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 需給の適確な見通しを策定し、生産調整の円滑な推進と備蓄の機動的運営を行う</li> <li>✓ 政府備蓄の在庫量の適正水準は、今後の検証を踏まえて決定する</li> </ul>
R7年8月	米価高騰の要因と対応の検証、 今後の方向性 (P10)	<p>&lt;今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 耕作放棄地も活用し、増産に舵を切る政策へ移行</li> <li>✓ 農地の集約、大区画化、スマート農業技術の活用等を通じた生産性の向上</li> <li>✓ 輸出の抜本的拡大</li> <li>✓ 精米ベースでの需給見直し作成</li> <li>✓ 流通構造の実態把握、消費者・生産者等の納得感の醸成</li> <li>✓ 水田政策の見直し (R9年度～)</li> </ul>

法律の概要

食料安全保障の確保

- (1) 基本理念について、
- ①「食料安全保障の確保」を規定し、その定義を「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人一人がこれ入手できる状態」とする。(第2条第1項関係)
  - ②国民に対する食料の安定的な供給に当たっては、農業生産の基盤等の確保が重要であることに鑑み、国内への食料の供給に加え、海外への輸出を図ることで、農業及び食品産業の発展を通じた食料の供給能力の維持が図られなければならない旨を規定。(第2条第4項関係)
  - ③食料の合理的な価格の形成については、需給事情及び品質評価が適切に反映されつつ、食料の持続的な供給が行われるよう、農業者、食品事業者、消費者その他の食料システムの関係者によりその持続的な供給に要する合理的な費用が考慮されるようにしなければならない旨を規定。(第2条第5項関係)
- (2) 基本的施策として、
- ①食料の円滑な入手（食品アクセス）の確保（輸送手段の確保等）、農産物・農業資材の安定的な輸入の確保（輸入相手国の多様化、投資の促進等）(第19条及び第21条関係)
  - ②収益性の向上に資する農産物の輸出の促進（輸出産地の育成、生産から販売までの関係者が組織する団体（品目団体）の取組促進、輸出の相手国における需要の開拓の支援等）(第22条関係)
  - ③価格形成における費用の考慮のための食料システムの関係者の理解の増進、費用の明確化の促進等を規定。(第23条及び第39条関係)

環境と調和のとれた食料システムの確立

- (1) 新たな基本理念として、食料システムについては、食料の供給の各段階において環境に負荷を与える側面があることに鑑み、その負荷の低減が図られることにより、環境との調和が図られなければならない旨を規定。(第3条関係)
- (2) 基本的施策として、農業生産活動、食品産業の事業活動における環境への負荷の低減の促進等を規定。(第20条及び第32条関係)

農業の持続的な発展

- (1) 基本理念において、生産性の向上・付加価値の向上により農業の持続的な発展が図られなければならない旨を追記。(第5条関係)
- (2) 基本的施策として、効率的かつ安定的な農業経営以外の多様な農業者による農地の確保、農業法人の経営基盤の強化、農地の集約化・適正利用、農業生産の基盤の保全、先端的な技術（スマート技術）等を活用した生産性の向上、農産物の付加価値の向上（知財保護・活用等）、農業経営の支援を行う事業者（サービス事業者）の活動促進、家畜の伝染性疾患・有害動植物の発生予防、農業資材の価格変動への影響緩和等を規定。(第26条から第31条まで、第37条、第38条、第41条及び第42条関係)

農村の振興

- (1) 基本理念において、地域社会が維持されるよう農村の振興が図られなければならない旨を追記。(第6条関係)
- (2) 基本的施策として、農地の保全に資する共同活動の促進、地域の資源を活用した事業活動の促進、農村への滞在機会を提供する事業活動（農泊）の促進、障害者等の農業活動（農福連携）の環境整備、鳥獣害対策等を規定。(第43条から第49条まで関係)

○従来の基本法に基づく政策全般にわたる検証及び評価並びに今後20年程度を見据えた課題の整理を行い、**食料・農業・農村基本法を改正**（令和6年6月5日施行）。  
 ○改正基本法の基本理念に基づき、施策の方向性を具体化し、平時からの食料安全保障を実現する観点から、**初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進める**。

**食料安全保障の確保**

食料の安定的な供給

— 国内の農業生産の増大

目標

- **食料自給率**  
 ・ 摂取ベース：53%  
 ・ 国際基準準拠：45%

+  
**安定的な輸入の確保**  
 +  
**備蓄の確保**

— **食料自給力の確保**

(農地、人、技術、生産資材)

目標

- **農地の確保**  
 (農地面積：412万ha)
- **サステナブルな農業構造**  
**49歳以下の担い手数：**  
 現在の水準  
 (2023年：4.8万) を維持

○ **生産性の向上**

(労働生産性・土地生産性)

- ・ 1経営体当たり生産量：1.8倍
- ・ 生産コストの低減：  
 (米) 15ha以上の経営体  
 11,350円/60kg→9,500円/60kg
- (麦、大豆) 2割減 (現状比)

— **輸出の促進**

(国内の食料需要減少下においても供給能力を確保)

目標

- **農林水産物・食品の輸出額**  
 (輸出額：5兆円)

**➤ 農地総量の確保、サステナブルな農業構造の構築、生産性の抜本的向上による「食料自給力」の確保**

- **水田政策を令和9年度から根本的に見直し**、水田を対象として支援する水田活用の直接支払交付金を作物ごとの生産性向上等への支援へと転換
- **コメ輸出**の更なる拡大に向け、低コストで生産できる輸出向け産地を新たに育成するとともに、海外における需要拡大を推進
- 規模の大小や個人・法人などの経営形態にかかわらず、農業で生計を立てる担い手を育成・確保し、**農地・水を確保**するとともに、地域計画に基づき、担い手への**農地の集積・集約化**を推進
- **サステナブルな農業構造の構築**のため、親元就農や雇用就農の促進により、49歳以下の担い手を確保
- **生産コストの低減**を図るため、**農地の大区画化**、情報通信環境の整備、**スマート農業技術の導入・DXの推進**や農業支援サービス事業者の育成、品種の育成、共同利用施設等の再編集集約・合理化等を推進
- **生産資材**の安定的な供給を確保するため、国内資源の肥料利用拡大、化学肥料の原料備蓄、主な穀物の国産種子自給、国産飼料への転換を推進

**➤ 輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」を強化**

- マーケットイン・マーケットメイクの観点からの**新たな輸出先の開拓**、輸出産地の育成、国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進
- **食品産業の海外展開**及び**インバウンド**による食関連消費の拡大による輸出拡大との相乗効果の発揮

関係者の連携による持続的な食料システムの確立

農業の持続的な発展

農業経営の「収益力」を高め、  
 農業者の「所得を向上」

関係者の連携による持続的な食料システムの確立

**食料安全保障の確保**

**食料の安定的な供給**

食品産業の発展

合理的な価格形成

国民一人一人が入手できる

物理的アクセス+ 経済的アクセス  
+ 不測時のアクセス

**環境と調和のとれた食料システムの確立**

目標

- 温室効果ガス削減量 (2013年度比)  
削減量: 1,176万t-CO<sub>2</sub>

**多面的機能の発揮**

➤ **食料システムの関係者の連携を通じた**

**「国民一人一人の食料安全保障」の確保**

- 原材料調達の安定化、環境・人権・栄養への配慮等**食品等の持続的な供給のための取組を促進**
- コストの明確化、消費者理解の醸成等を通じた食料システム全体での**合理的な費用を考慮した価格形成の推進**
- ラストワンマイル物流の確保**、未利用食品の**出し手・受け手のマッチング**、フードバンク等の**食料受入・提供機能の強化等を実施**

➤ **「食料システム全体で環境負荷の低減」を図りつつ、多面的機能を発揮**

- GXに取り組み民間活力を取り込み、脱炭素化、生産性向上、地域経済の活性化を同時に実現する**「みどりGX推進プラン(仮称)」**、新たな環境直接支払交付金やクロスコンプライアンスの実施を通じ、**環境負荷低減の取組を促進**
- バイオマス・再生可能エネルギー利用等の**農林漁業循環経済の取組を促進**
- 多様な者の参画等を得つつ、**共同活動を行う組織の体制の強化**により農業生産活動の継続を通じた多面的機能の発揮を促進

**農村の振興**

農業生産の基盤の整備・保全  
地域の共同活動の促進

農村との関わりを持つ者の増加

機会の創出+ 経済面の取組+ 生活面の取組

目標

- 農村関係人口の拡大が見られた市町村数  
市町村数: 630
- 農村地域において創出された**付加価値額**  
付加価値額: 22兆円

中山間地域等の振興、鳥獣被害対策

➤ **地方創生2.0の実現のための「総合的な農村振興」、**

**「きめ細やかな中山間地域等の振興」**

- 2025年夏を目途に**「地方みらい共創戦略」**を策定し、**「農山漁村」経済・生活環境創生プロジェクト**の下、**官民共創**の仕組みを活用した、地域内外の**民間企業の参画促進**や地域と企業の新たな結合等により、**関係人口の増加を図り、楽しい農村**を創出
- 所得向上**や**雇用創出**のため、**農泊**や**農福連携**等、地域資源をフル活用し付加価値のある**内発型新事業**を創出
- 生活の利便性**確保のため、**自家用有償旅客運送**等の移動手段の確保等の**生活インフラ**等を確保
- 中山間地域等の振興**のため、**農村RMO**の立上げや活動充実の後押しによる集落機能の維持、**地域課題**に対応した**スマート農業技術**の開発・導入、**地域の特色を活かした農業で稼ぐ**ための取組を支援

**国民理解の醸成**

○農業等に対する消費者の更なる**理解**や実際の**行動変容**につなげるため、**食育**等を推進

## 一般の米価高騰の要因と対応の検証、今後の方向性

### 《検証》

(1) 農林水産省は、人口減少等による**需要のマイナス・トレンドの継続**を前提として、翌年産の需要量の見通しと生産量の見通しを作成（令和4年秋・令和5年秋）。また、生産量の見通しにおいても、精米歩留まりが低下していることを考慮していなかった。

他方、実際の生産量及び在庫量から計算した**需要量(玄米ベース)**は、令和4/5年と比較して、令和5/6年、6/7年は**増加**。また、精米とう精数量から推計した需要量（精米ベース）でも、令和4年産と比較して、令和5・6年産は増加。

その要因は、高温障害等により**精米歩留まりが悪かった**ことから、玄米ベースでの必要量が増加したこと（**供給面の要因**）に加え、**インバウンド需要**や、家計購入量の増加など**一人当たり消費量の増加**によるものと考えられる。

この結果、生産量は需要量に対し**不足**（令和5/6年：40～50万トン程度（需要量比：6～8%程度）、令和6/7年：20～30万トン程度（需要量比：4～5%程度））し、**民間在庫を取り崩し**、需要量に見合う供給量を確保せざるを得なかった。

(2) **民間在庫**は、多くが既に売り先が決まっているものであり、緊急事態に対応できる**バッファーになり得ない**状況。

**民間在庫の減少**に伴い、流通段階では、次年度の端境期に**米が不足するとの不安**から競争が発生。卸売業者等では、新規の調達ルートを開拓したり、同業者間で取引するスポット市場を通じて、**比較的高い価格の米を調達**。

(3) これらが**米価高騰の要因**となる中、農林水産省は、**生産量(玄米ベース)は足りているとの認識**の中で、

① **流通実態の把握に消極的**であり、**マーケットへの情報発信や対話も不十分**。

② **政府備蓄米**についても、不作時に備蓄米を放出するというルールの下、**放出時期が遅延**。

こうした対応の下で、卸売業者等の不安感を払拭できず、**更なる価格高騰**を招致。

### 《今後の方向性》

① 需給の変動にも柔軟に対応できるよう、官民合わせた備蓄の活用や、**耕作放棄地**も活用しつつ、**増産に舵を切る政策への移行**

② 農地の集積・集約、大区画化や、スマート農業技術の活用、新たな農法（節水型乾田直播等）等を通じた**生産性の向上**

③ 米国の関税措置による影響を分析しつつ、増産の出口としての**輸出の抜本的拡大**

④ **精米ベース**の供給量・需要量や消費動向の把握等を通じた、余裕を持った**需給見通しの作成と消費拡大**

⑤ **流通構造**の透明性の確保のための実態把握や流通の適正化を通じた消費者・生産者等の**納得感の醸成**

⑥ 作物ごとの生産性向上等への転換、環境負荷低減に資する新たな仕組みの創設等を通じた**水田政策の見直し**（令和9年度）等

# 農業政策についての国・県・市の動き

県の動向		
	内容	概要
R6年3月	次世代へつなぐ、希望あふれる ふくい食・農・環境計画の策定 (P12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 令和6年度から令和10年度までの5年間の計画期間とし、おおむね10年後を展望した今後5年間の福井県農政の基本指針</li> <li>✓ 食・農・環境の目指す姿とその実現に向けた具体的な施策を示すもの</li> <li>✓ 農業の持続的な発展</li> <li>✓ 農村の振興</li> </ul>
R7年8月	令和8年産米等の需要に応じた 生産について	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今後、国から示される全国の需給見通しを参考に、福井県独自の需要見込みを踏まえて令和8年産米の生産数量目安を決定予定</li> </ul>



今後の市の動き		
	内容	概要
R7年8月	ビジョン推進委員会、 大野市食育推進会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」の令和8年度末改訂に向けた協議</li> </ul>
R7年9月	アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 担い手農家、新規就農者、小規模農家、市民、児童・生徒を対象</li> <li>✓ ビジョンへの反映、R8年度予算案の参考</li> </ul>
R8年1月 (予定)	R8年度の転作率の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県農業再生協議会からの生産数量の目安を参考に大野市農業再生協議会にてR8年度転作率を決定（2月に説明会を実施予定）</li> </ul>
R8年2月 (予定)	ビジョン推進委員会、 大野市食育推進会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」の改訂骨子（案）の協議</li> <li>✓ 2025年農林業センサスの結果概要を参照</li> </ul>

## 第1章 4 施策の体系

## 施策の体系

目指す姿を実現していくため、「農業者」「農村住民」「ふくいを訪れる人、県民」を対象とした3つの柱からなる施策体系とし、現状と課題を踏まえた施策の方向性を明らかにし、具体的な施策を展開していきます。



## ➤ 農地総量の確保、サステナブルな農業構造の構築、生産性の抜本的向上による「食料自給力」の確保

- 水田政策を令和9年度から根本的に見直し、水田を対象として支援する水田活用の直接支払交付金を作物ごとの生産性向上等への支援へと転換
- コメ輸出の更なる拡大に向け、低コストで生産できる輸出向け産地を新たに育成するとともに、海外における需要拡大を推進
- 規模の大小や個人・法人などの経営形態にかかわらず、農業で生計を立てる担い手を育成・確保し、**農地・水を確保**するとともに、地域計画に基づき、担い手への**農地の集積・集約化**を推進
- **サステナブルな農業構造の構築**のため、親元就農や雇用就農の促進により、49歳以下の担い手を確保
- **生産コストの低減**を図るため、**農地の大区画化**、情報通信環境の整備、**スマート農業技術の導入・DXの推進**や農業支援サービス事業者の育成、品種の育成、共同利用施設等の再編集約・合理化等を推進
- **生産資材**の安定的な供給を確保するため、国内資源の肥料利用拡大、化学肥料の原料備蓄、主な穀物の国産種子自給、国産飼料への転換を推進

## ➤ 輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」を強化

- マーケットイン・マーケットメイクの観点からの**新たな輸出先の開拓**、輸出産地の育成、国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進
- **食品産業の海外展開**及び**インバウンド**による**食関連消費の拡大**による輸出拡大との相乗効果の発揮

## 大野市内の状況

再生協にて5年水張ルールへの対応を実施（R8年度まで）

認定農業者：77者、認定新規就農者：7名（夫婦1組含む）  
担い手への集積率：80.5%

- ・A法人では社員の知人を正社員として雇用
- ・B集落営農組織では地区内の30歳代、40歳代の若者を正社員として雇用

乾側地区、小山地区など市内農地について順次大区画化  
塚原地区、大矢戸地区などで土地改良実施予定

自動運転田植機、収量コンバイン、ドローンなどのスマート農機の導入  
C農園：ドローンを活用した水稻種子の直播

- ・水稻種子や大麦種子を生産
- ・飼料用米、WCS用稲を生産、市内外の畜産農家へ販売

# 大野市内の状況

## ▶ 食料システムの関係者の連携を通じた

### 「国民一人一人の食料安全保障」の確保

- 原材料調達の安定化、環境・人権・栄養への配慮等**食品等の持続的な供給のための取組を促進**
- コストの明確化、消費者理解の醸成等を通じた食料システム全体での**合理的な費用を考慮した価格形成**の推進
- ラストワンマイル物流の確保**、未利用食品の**出し手・受け手のマッチング**、フードバンク等の食料受入・提供機能の強化等を実施

## ▶ 「食料システム全体で**環境負荷の低減**」を図りつつ、多面的機能を発揮

- GXに取り組む民間活力を取り込み、脱炭素化、生産性向上、地域経済の活性化を同時に実現する「**みどりGX推進プラン(仮称)**」、新たな環境直接支払交付金やクロスコンプライアンスの実施を通じ、**環境負荷低減**の取組を促進
- バイオマス・再生可能エネルギー利用等の**農林漁業循環経済の取組を促進**
- 多様な者の参画等を得つつ、**共同活動を行う組織の体制の強化**により農業生産活動の継続を通じた多面的機能の発揮を促進

## ▶ 地方創生2.0の実現のための「**総合的な農村振興**」、

### 「**きめ細やかな中山間地域等の振興**」

- 2025年夏を目途に「**地方みらい共創戦略**」を策定し、「『**農山漁村**』**経済・生活環境創生プロジェクト**」の下、**官民共創**の仕組みを活用した、地域内外の**民間企業の参画促進**や地域と企業の新たな結合等により、**関係人口の増加を図り、楽しい農村**を創出
- 所得向上**や**雇用創出**のため、**農泊**や**農福連携**等、地域資源をフル活用し付加価値のある**内発型新事業**を創出
- 生活の利便性確保**のため、自家用有償旅客運送等の移動手段の確保等の**生活インフラ**等を確保
- 中山間地域等の振興**のため、**農村RMO**の立上げや活動充実の後押しによる集落機能の維持、**地域課題に対応**したスマート農業技術の開発・導入、**地域の特色を活かした農業で稼ぐ**ための取組を支援

## 国民理解の醸成

○農業等に対する**消費者の更なる理解**や**実際の行動変容**につなげるため、**食育**等を推進

市内事業者と連携したフードドライブを実施（フードバンク実践団体は0。）

- 環境にやさしい農業推進事業  
六呂師、富田で堆肥を販売、散布
- 道の駅産直の会農林産品部会の取り組み  
・昇竜の廃菌床、福井グリーンパワーの焼却灰を活用した土づくり  
・北陸電力水力発電所の落ち葉の腐葉土化を研究

【関連】多面的の取り組み：45団体  
中山間の取り組み：27団体

観光農園の取り組みを検証している農家あり

農福連携を実践中の農家あり

市民協働による住民自治のあり方を検討中。  
市としての方向性を定めた上で農村RMO制度の活用を検討。

食育フェスタを通じて市民へ啓発。

## 2 議題 (1) ビジョンの改訂について 改訂スケジュール



## 2 議題 (2) アンケート内容について

### <対象者>

- ・認定農業者、認定新規就農者 56者+6者
- ・集落営農組織 45者
- ・各集落（農家組合長を通じて） 150名
- ・市民 680名
- ・小学6年生、中学3年生

### <実施方法>

- ・認定農業者、認定新規就農者
  - ・集落営農組織
  - ・各集落（農家組合長を通じて）
  - ・市民
  - ・小学6年生、中学3年生
- 郵送・聴き取り
- 郵送・WEB
- WEB

### <内容（案）>

資料2のとおり







2. 新規就農者を受入れ、後継者として育成したい
3. 希望する農業者（第3者）がいれば引き継ぎたい ※第3者継承
4. どうすれば良いか分からない
5. その他（ )

#### 2-4 スムーズな事業継承に必要な重要な支援は何だと思いますか。（3つまで）

1. 市や奥越農林総合事務所、JAなどによる相談窓口の設置による個別相談
2. 事業継承のアドバイスや必要な手続きをサポートする専門家の派遣
3. 事業継承に関する研修会を定期的を開催する
4. 後継者に対する栽培技術研修や経営サポートなどの支援体制の構築
5. 後継者の生活安定の為に所得を保障する支援
6. 事業継承する際に農機具や施設などの導入・更新に対する支援
7. 新規就農者の積極的な確保
8. 後継者の結婚相談などの支援
9. その他（ )

### 3. 「販路」について

3-1 農産物の販売についてお伺いします。現在、栽培した農産物および加工農産物はどのようにして販売していますか。それぞれの品目について販売方法を教えてください。あてはまる番号全てに○をつけてください。また該当する販売先に全て☑してください。

※ 卸売業者：仕入れた商品を主に小売業者に販売

※ 小売業者：仕入れた商品を主に消費者に販売。百貨店やスーパー、コンビニなど

#### 【主食用米】

1. JA
2. 直売所（道の駅、TORE TASなど）
3. 卸売業者
4. 小売業者 [ 市内 市外 ]
5. 飲食店（外食） [ 市内 市外 ]
6. 消費者

[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他（ ) ]

7. その他（ )

#### 【米以外の農産物】

1. JA
2. 直売所（道の駅、TORE TASなど）
3. 市場
4. 卸売業者 [ 市内 市外 ]
5. 小売業者 [ 市内 市外 ]
6. 飲食店（外食） [ 市内 市外 ]
7. 食品製造業者 [ 市内 市外 ]

8. 消費者

[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他 ( ) ]

9. その他 ( )

**【加工農産物】**

1. 卸売業者 [ 市内 市外 ]

2. 小売業者 [ 市内 市外 ]

3. 飲食店(外食) [ 市内 市外 ]

4. 直売所(道の駅、TORETTASなど)

5. 消費者

[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他 ( ) ]

6. その他 ( )

**3-2 今後(概ね5年以内)の販売方法についてお伺いします。農産物や加工農産物についてどのように販売していきたいとお考えですか。あてはまるもの全てに○をつけてください**

1. JAへの出荷(系統出荷)を中心に販売したい
2. 市場への出荷を中心に販売したい
3. 小売業者や飲食店などと直接取引を中心に販売したい
4. 中食や加工業者など製造事業者販売したい
5. 企業との契約栽培に取り組みたい
6. インターネットやインターネット販売業者を活用し個人との直接取引を増やしたい
7. ふるさと納税への出品を増やしたい
8. 直売所での販売を増やしたい
9. 輸出に取り組みたい ※商社など業者を介する場合も含む
10. その他 ( )

**3-3 今後(概ね5年以内)販路を拡大したいとお考えですか。(1つ)**

1. 販路を拡大したい ⇒ 問3-4へ
2. 現状を維持 ⇒ 問4-1へ
3. 販路を縮小したい ⇒ 問4-1へ

**3-4 販路を拡大する上で課題はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください**

1. 組織内に営業が出来る人材がない
2. どのような所に営業をすれば良いか分からない
3. 小売・飲食店と直接取引できるだけの収量がない
4. 納入量・納入時期について、取引業者の要望を満たせるかどうか不安である

5. 営業や輸送に係る経費を負担できない
6. 農産物を売り込むだけのセールスポイントがない
7. 付加価値よりも価格の安さを求める消費者が多い
8. その他 ( )

## 4. 「地域農業の活性化」について

### 4-1 新規就農希望者がいた場合、研修先として受入（雇用）できますか。（1つ）

1. 受入できる
2. 独立を考えてないのであれば従業員として受入できる
3. 経営を継承してくれるなら後継者候補として受入できる
4. 研修生としてなら受入できる ※無給若しくはアルバイト賃金
5. 受入できない
6. その他 ( )

### 4-2 地域の担い手の育成、確保に向けて必要なことは何ですか。（3つまで）

1. 農業後継者やUターン者への支援
2. 非農家や移住者などの新規就農者の積極的な確保
3. 農業技術向上や経営スキル向上などの研修制度の充実
4. 定年後に就農しやすくする為の環境整備
5. 農家レストランや農家民宿など新たな兼業スタイルの推進
6. 農業者の結婚支援
7. 企業的な経営を目指し個人農家の法人化をすすめる
8. 農業以外の企業の新規参入の促進
9. その他 ( )

### 4-3 あなたが伝えたい（感じている）農業の魅力は何ですか。（3つまで）

1. 経営方針や展開など裁量の自由度の大きさ
2. 作業や休日など時間の自由度の大きさ
3. 気候や生き物など自然環境との関わりの深さ
4. 生きる為に必要な食料を生産している社会的貢献
5. 地域との繋がりの強さ
6. 儲けの可能性の大きさ

7. 消費者との交流
8. 健康な身体づくりに繋がる
9. 農産物の安全性や品質特性を迫及できる
10. 美しい農村風景の維持や災害防止への貢献
11. その他（ ）

**4-4 地域の農業を活性化していく為には、どのような対策が必要だとお考えですか。以下のそれぞれの分野について、重要だと思うものに○をつけてください（それぞれ2つまで）**

**【担い手農家・後継者育成】**

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 若年者層への就農環境の整備 | 2. 定年後に農業に入りやすい環境整備   |
| 3. 担い手農家の育成      | 4. 女性の農業・農産物加工への参加の支援 |
| 5. 新規就農希望者への支援   | 6. 集落を超えた広域営農組織の設立支援  |
| 7. 小規模農家の育成      |                       |
| 8. その他（ ）        |                       |

**【営農支援】**

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 兼業・小規模農家への支援拡充             | 2. 異業種からの農業参入支援       |
| 3. 農繁期における人材支援                | 4. 野菜や果物などの新たな品種の栽培支援 |
| 5. 経営のスペシャリストによる経営分析や改善への支援   |                       |
| 6. 稲作や園芸品目などの栽培技術の支援          |                       |
| 7. 低農薬や生き物環境の確保など環境に配慮した農業の推進 |                       |
| 8. その他（ ）                     |                       |

**【基盤整備】**

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 農業機械・機器の導入／更新支援         | 2. 農業の効率化に向けた土地改良事業の推進 |
| 3. 担い手への農地の集積・集約の推進        | 4. 農産物加工施設設置への支援       |
| 5. 水環境の改善（水質、水路保全、水利の確保など） |                        |
| 6. 遊休農地の発生防止、農地への復旧        |                        |
| 7. その他（ ）                  |                        |

**【販売支援】**

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 農産物のブランド化の推進             | 2. 新たな特産作物や加工農産物の開発   |
| 3. 規格外農産物の販路の確保             | 4. 市内の小売業者・飲食店への販路の確保 |
| 5. 大都市・量販店での販路の確保           | 6. 農産物の輸出の推進          |
| 7. 観光と連携した農業体験や農業者との交流事業の促進 |                       |
| 8. その他（ ）                   |                       |

**【鳥獣害防止に対する支援】**

1. 侵入防止柵を新設（更新）する際の支援
2. 狩猟者の育成
3. 集落を超えた広域の侵入防止柵設置の推進
4. 捕獲檻の設置
5. 獣害防止対策の集落間の連携促進に向けた支援
6. 狩猟免許取得に対する支援
7. 鳥獣害防止対策に関する研修会の開催
8. その他（ ）

4－5 「地域農業」や「担い手確保」に関して、お困りごとや対策のあり方などがありましたら、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

**ご協力ありがとうございました。**









### 3. 「販路」について

3-1 農産物の販売についてお伺いします。現在、栽培した農産物および加工農産物はどのようにして販売していますか。それぞれの品目について販売方法を教えてください。あてはまる番号全てに○をつけてください。また該当する販売先に全て☑してください。

※ 卸売業者：仕入れた商品を主に小売業者に販売。

※ 小売業者：仕入れた商品を主に消費者に販売。百貨店やスーパー、コンビニなど

#### 【主食用米】

1. JA                    2. 直売所（道の駅、TORETASなど）                    3. 卸売業者  
4. 小売業者 [ 市内 市外 ]                    5. 飲食店（外食） [ 市内 市外 ]  
6. 消費者  
[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他（                    ）]  
7. その他（                    ）

#### 【米以外の農産物】

1. JA                    2. 直売所（道の駅、TORETASなど）                    3. 市場  
4. 卸売業者 [ 市内 市外 ]                    5. 小売業者 [ 市内 市外 ]  
6. 飲食店（外食） [ 市内 市外 ]                    7. 食品製造業者 [ 市内 市外 ]  
8. 消費者  
[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他（                    ）]  
9. その他（                    ）

#### 【加工農産物】

1. 卸売業者 [ 市内 市外 ]                    2. 小売業者 [ 市内 市外 ]  
3. 飲食店（外食） [ 市内 市外 ]                    4. 直売所（道の駅、TORETASなど）  
5. 消費者  
[ 直接販売 インターネット販売 ふるさと納税 その他（                    ）]  
6. その他（                    ）

**3-2 今後の販売方法についてお伺いします。農産物や加工農産物についてどのように販売していきたいとお考えですか。あてはまるもの全てに○をつけてください**

1. JAへの出荷（系統出荷）を中心に販売したい
2. 市場への出荷を中心に販売したい
3. 小売業者や飲食店などと直接取引を中心に販売したい
4. 中食や加工業者など製造事業者販売したい
5. 企業との契約栽培に取り組みたい
6. インターネットやインターネット販売業者を活用し個人との直接取引を増やしたい
7. ふるさと納税への出品を増やしたい
8. 市場や直売所での販売を増やしたい。
9. 輸出に取り組みたい。 ※商社など業者を介する場合も含む
10. その他（ )

**3-3 今後（概ね5年以内）販路を拡大したいとお考えですか。（1つ）**

1. 販路を拡大したい ⇒ 問3-4へ
2. 現状を維持 ⇒ 問4-1へ
3. 販路を縮小したい ⇒ 問4-1へ

**3-4 販路を拡大する上での課題はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください**

1. 組織内に営業が出来る人材がいない
2. どのような所に営業をすれば良いか分からない
3. 小売・飲食店と直接取引できるだけの収量がない
4. 納入量・納入時期について、取引業者の要望を満たせるかどうか不安である
5. 営業や輸送に係る経費を負担できない
6. 農産物を売り込むだけのセールスポイントがない
7. 付加価値よりも価格の安さを求める消費者が多い
8. その他（ )

## 4. 「地域農業の活性化」について

**4-1 新規就農希望者がいた場合、研修先として受入できますか。（1つ）**

1. 従業員として受入できる ※常時雇用
2. 研修生としてなら受入できる ※無給若しくはアルバイト賃金
3. 受入できない
4. その他（ )

**4-2 担い手の育成、確保に向けて必要なことは何ですか。(3つまで)**

1. 農業後継者やUターン者への支援
2. 非農家や移住者などの新規就農者の積極的な確保
3. 農業技術向上や経営スキル向上などの研修制度の充実
4. 定年後に就農しやすくするための環境整備
5. 農家レストランや農家民宿など新たな兼業スタイルの推進
6. 農業者の結婚支援
7. 企業的な経営を目指し個人農家の法人化をすすめる
8. 農業以外の企業の新規参入の促進
9. その他 ( )

**4-3 あなたが伝えたい(感じて)る)農業の魅力は何ですか。(3つまで)**

1. 経営方針や展開など裁量の自由度の大きさ
2. 作業や休日など時間の自由度の大きさ
3. 気候や生き物など自然環境との関わりの深さ
4. 生きる為に必要な食料を生産している社会的貢献
5. 地域との繋がりの強さ
6. 儲けの可能性の大きさ
7. 消費者と交流
8. 健康な身体づくりに繋がる
9. 農産物の安全性や品質を追及できる
10. 美しい農村風景の維持や災害防止への貢献
11. その他 ( )

**4-4 地域の農業を活性化していく為には、どのような対策が必要だとお考えですか。下のそれぞれの分野について、重要だと思うものに○をつけてください(それぞれ2つまで)**

**【担い手農家・後継者育成】**

1. 若年者層への就農環境の整備
2. 定年後に農業に入りやすい環境整備
3. 担い手農家の育成
4. 女性の農業・農産物加工への参加の支援
5. 新規就農希望者への支援
6. 集落を超えた広域営農組織の設立支援
7. 小規模農家の育成
8. その他 ( )

**【営農支援】**

1. 兼業・小規模農家への支援拡充
2. 異業種からの農業参入支援
3. 農繁期における人材支援
4. 野菜や果物などの新たな品種の栽培支援
5. 経営のスペシャリストによる経営分析や改善への支援
6. 稲作や園芸品目などの栽培技術の支援
7. 低農薬や生き物環境の確保など環境に配慮した農業の推進
8. その他 ( )

### 【基盤整備】

1. 農業機械・機器の導入／更新支援
2. 農業の効率化に向けた土地改良事業の推進
3. 担い手への農地の集積・集約の推進
4. 農産物加工施設設置への支援
5. 水環境の改善（水質、水路保全、水利の確保など）
6. 遊休農地の発生防止、農地への復旧
7. その他（ ）

### 【販売支援】

1. 農産物のブランド化の推進
2. 新たな特産作物や加工農産物の開発
3. 規格外農産物の販路の確保
4. 市内の小売業者・飲食店への販路の確保
5. 大都市・量販店での販路の確保
6. 農産物の輸出の推進
7. 観光と連携した農業体験や農業者との交流事業の促進
8. その他（ ）

### 【鳥獣害防止に対する支援】

1. 侵入防止柵を新設（更新）する際の支援
2. 狩猟者の育成
3. 集落を超えた広域の侵入防止柵設置の推進
4. 捕獲檻の設置
5. 獣害防止対策の集落間の連携促進に向けた支援
6. 狩猟免許取得に対する支援
7. 鳥獣害防止対策に関する研修会の開催
8. その他（ ）

4-5 「地域農業」や「担い手確保」に関して、お困りごとや対策のあり方などがありましたら、何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

**ご協力ありがとうございました。**

# 大野市の農業についてのアンケート

以下の設問に対して、あてはまる番号に○をつけるか回答を記載してください

## 1. 「経営の現状および将来展望」について

### 1-1 あなたの居住地区はどちらですか。(1つ)

1. 大野地区 2. 下庄地区 3. 上庄地区 4. 小山地区 5. 乾側地区  
6. 富田地区・五箇地区 7. 阪谷地区 8. 和泉地区

### 1-2 あなたの年齢についてお答えください。(1つ)

1. ～30歳代 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳代  
5. 70歳代 6. 80歳代～

### 1-3 あなたの農業形態についてお答えください。(1つ)

1. 専業農家 2. 兼業農家

### 1-4 営農している農地の面積についてお答えください。(1つ)

1. 10a未満 2. 10a～49a 3. 50a～99a  
4. 1ha～1.9ha 5. 2ha～2.9ha 6. 3.0ha～4.9ha  
7. 5ha～9.9ha 8. 10ha以上

### 1-5 営農している農地についてお答えください。(1つ)

1. 全て自己所有の農地  
2. 自己所有農地に加え、他の農家からも借りている  
(自己所有： a、借入農地： a)

### 1-6 農産物の出荷販売についてお答えください。(あてはまるもの全て)

1. 自家消費や近所、親戚に無料で配布または販売している  
2. JAに出荷している(TORETASでの販売は4を選択してください)  
3. 直売所(道の駅、TORETAS、農林楽舎など)で販売している  
4. ふるさと納税に出品している  
5. その他( )

**1-7 営農する上で困っていることについてお答えください。(3つまで)**

1. 農機具や設備の購入、更新にお金がかかる
2. 農産物の価格が不安定である
3. 水路など農業基盤が老朽化している
4. 農繁期の労働力の確保が難しい
5. 鳥獣害への対策
6. 畦畔、法面の草刈り
7. 技術や経営について相談できる人がいない
8. 後継者がいない
9. 離農・規模の縮小を考えているが、農地をあずかってくれる人がいない
10. その他 ( )

**1-8 今後(おおむね5年後)の農業経営についてお答えください。(1つ)**

1. 現状維持
2. 面積を拡大したい
3. 面積を縮小したい
4. 後継者に経営を譲りたい
5. 離農したい
6. わからない

**1-9 「面積を縮小したい」、「離農したい」と回答された方。農地をどのようにしたいとお考えですか(1つ)**

1. 担い手農家(農業法人、大規模農家、集落営農組織など)に貸したい
2. 親戚、知人に貸したい
3. 新規就農希望者に貸したい
4. 手放したい
5. その他 ( )





# 食関係アンケート

下記の質問について、あてはまるものに✓をしてください

## ○あなたのことを教えてください

### ①性別

男 女 回答しない

### ②年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

### ③職業 ※1つ

農林漁業 自営業 会社員・公務員等 パート・アルバイト 専業主夫・主婦  
学生（専門学校生・大学生等） 無職 その他

### ④同居の家族構成

単身世帯 一世帯 二世帯以上 わからない

## ○農業との関わりについて

### ①大野市内にある田や畑（農地）についてどのようにお考えですか ※特にお考えのこと1つ

環境や生き物を守るためにも残すべき 農家を守るためにも残すべき  
景観が悪くなるので残すべき 祭りや食など地域文化に関わりがあるから残すべき  
地下水保全のためにも残すべき 農地が荒れていくことは仕方がない  
あまり関心がない  
減らすべき（理由： \_\_\_\_\_）  
その他（ \_\_\_\_\_）  
わからない

### ②大野市の農業や農地に対して感じていることは何ですか ※あてはまるもの全て

美味しいお米や野菜を生産している 生き物や自然を守るために役立っている  
季節を感じる場所 子どもの教育の場や農業体験の場として役立っている  
大野らしい景色をつくっている 管理されていない農地が多い  
農薬の使用が気になる 農機具の騒音や道路汚れが気になる  
あまり関心がない  
その他（ \_\_\_\_\_）  
わからない

### ③農作業（農業）をしたいと思いますか

してみたい 機会があればしてみたい したくない わからない

③で「してみたい」「機会があればしてみたい」を選んだ人は④・⑤に回答してください

④どんな理由で農作業をしてみたいと考えていますか ※あてはまるもの全て

- 自分でお米、野菜を作ってみたい      家族や友達とふれあうため      健康のため  
農業中心の生活をしたい      農家のお手伝いをしたい      食育・教育のため  
安心できるお米、野菜をつくりたい      土地を維持したい・活用したい  
その他 ( )

⑤どのような農作業をしてみたいと思いますか ※あてはまるもの全て

- 就農したい      貸農園や畑を借りたい      農家の作業を手伝いたい  
農業体験などイベントに参加したい      自宅の敷地の一角やプランターを利用した野菜作り  
その他 ( )

## ○地元産品の利用（地産地消）について

### （お米）

①普段お米を食べていますか

- ほぼ毎食      1日2回      1日1回      週4～6回      週2～3回  
ほとんど食べない      全く食べない

②お米を食べない人にお聞きします。お米を食べない理由はなんですか ※あてはまるもの全て

- 健康維持      ダイエット      体型維持      胃もたれを防ぐ      食費の節約  
米よりパンや麺が好き      特に理由はない  
その他 ( )

③お米を食べている方にお聞きします。大野市産のお米を食べていますか

- 食べている      食べる時もある      ほとんど食べない      産地はこだわらない

④大野市産のお米を食べない理由 ※③で「食べている」を選んだ以外の人 ※あてはまるもの全て

- 価格が高い      美味しくない      安全性に不安がある      有機栽培のお米を食べたいから  
どこで買えるか分からない      どこのお米でも変わらない  
その他 ( )

⑤普段、お米はどこで入手していますか（もらっていますか） ※あてはまるもの全て

- 自家栽培      集落の生産組織      預けた田んぼの耕作者      親族・知人  
市内のスーパーや量販店      市外のスーパーや量販店      通販・宅配サービス  
その他 ( )  
わからない

⑥普段食べるお米に関して求めていることはなんですか ※一番重要なものだと思うもの1つ

- 大野市産    安全性    美味しさ    ブランド力    価格の安さ    有機栽培  
その他 ( )  
特にこだわりはない

## (野菜)

①普段野菜を食べていますか

- ほぼ毎食    1日2回    1日1回    週4～6回    週2～3回  
ほとんど食べない    全く食べない

②普段野菜はどこで入手することが多いですか ※多いもの3つまで

- 自家栽培    親族・知人    市内のスーパーや量販店    市外のスーパーや量販店  
市内の農林水産物直売所    市外の農林水産物直売所    通販・宅配サービス    七間朝市  
その他 ( )  
わからない

③上記で野菜を入手されている理由は何ですか ※あてはまるもの全て

- 品物が良いから    安心だから    品揃えが豊富だから    価格が安いから  
家や職場から近いから    野菜以外の買い物も一緒にできるから    接客サービスが良いから  
その他 ( )  
わからない

④野菜を購入する頻度はどれくらいですか

- ほぼ毎日    週に2、3回    週に1回    月に1、2回    わからない

⑤野菜を購入する際に、どのようなことに注意して選んでいますか ※あてはまるもの全て

- 鮮度    価格    旬や季節感    色や形    味    栄養  
産地    生産者    低農薬、無農薬    扱いやすさ  
その他 ( )  
特になし

⑥大野市産の野菜の使用について

- 積極的に使用している    機会があれば使用している    ほとんど使用しない  
全く使用しない    意識していない  
その他 ( )  
わからない



## ○食文化について

- ①大野の食文化は誇れると思いますか ※（ ）内は誇れる食文化について具体的に教えてください  
※食文化：地域特有の食材（里芋、在来そば）や調理方法（煮物、発酵）、調味料（味噌、醤油）、  
食事作法、まつりなど、地域で受け継がれた食にまつわる文化

非常に誇れるものである 誇れる方だ 誇れない わからない

（ ）

- ②大野市民の食文化に対する意識は高いと思いますか

非常に高い 高いほうだ あまり高くない 全然高くない わからない

- ③大野らしい食文化は何だと思いますか ※あてはまるもの全て

里芋や在来そばなどの農林水産物 醤油などの調味料やお酒といった発酵食品 七間朝市

醤油カツ丼やとんちゃんなどのB級グルメ 里芋のころ煮などの煮もの

鯨鮓や熟れ鮓などの伝統食品 報恩講や半夏生（鯖）などの行事

その他（ ）

わからない

- ④未来に大野の食文化を伝えるために必要なことは何だと思いますか ※あてはまるもの全て

家庭での食事を大事にする 地元産の食材の利用をすすめる 食文化を学べる機会を増やす

市民向けの食イベントの開催 観光客向けの食イベントの開催

大野らしい食の料理教室の開催 自分で調理する習慣を身につける

食に特化した拠点施設をつくる 地元に残る伝統食のレシピ集をつくる

家庭菜園に取り組む人を増やす 水を中心とした環境保全

その他（ ）

わからない

- ⑤あなたが知っている郷土料理を教えてください ※（ ）内に書いてください

（ ）

知らない

- ⑥大野の食文化についての講座があれば参加しますか

※例：伝統野菜の育て方や調理の仕方、郷土料理の作り方など座学、実習

参加したい 機会があれば参加したい 参加したいと思わない わからない

- ⑦参加したいと思わない理由はなんですか ※⑥で「思わない」を選んだ人 ※あてはまるもの全て

食文化をよく知らない 食文化に興味がない 自分がする必要がないと思っている

参加する時間がとれない 特に理由はない

その他（ ）

⑧食について心掛けていること、興味があることは何ですか ※あてはまるもの全て

- 食育 食事のバランス（栄養や食事の量・タイミング、3食とる、野菜をとるなど）  
朝食をとる 食品ロス 家族と一緒に食べる 介護食、スマイルケア食  
食品の選び方（産地や栄養に着目する等） 調理方法 家庭菜園 食品衛生 旬や行事  
心掛けていることや興味はない  
その他（ ）

○その他

①農や食のイベントに参加したことがありますか

- ※例：新そばまつり、産業と食彩フェア、でっち羊かんまつりなど  
一般客として参加した 出展者側として参加した 参加していない

②参加してみたい活動はありますか ※3つまで

- 子供に対する食育活動 郷土料理、伝統料理など食文化継承活動 食品工場見学などの活動  
安全性など適切な食品選択の為の活動 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動  
農業・収穫体験など、農林漁業などに関する体験活動 参加してみたいものはない  
その他（ ）

③大野の食で、市外の人に食べてもらいたいものは何ですか ※5つまで

- 米 おろしそば 里芋 ネギ ナス 穴馬かぶら 穴馬スイートコーン 山菜  
九頭竜まいたけ 水 酒 醤油 味噌 豆腐やあげ 荒島ポーク 鮎  
アジメドジョウ ふくい名水サーモン 半夏生鯖 醤油カツ丼 とんちゃん  
けんけら でっち羊かん お惣菜（里芋のころ煮や舞茸ご飯など） 特にな  
その他（ ）

④会社（事業所）や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日ごろから「もったない」、「気を付けよう」と感じることはありますか

- いつも感じている しばしば感じている 時々感じている  
あまり感じていない 全く感じていない

⑤食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしていますか

- 常にしている しばしばしている 時々している あまりしていない 全くしていない

⑥日頃、食の安全に関して不安に思うことは何ですか ※あてはまるもの全て

- 伝染病（鳥インフルエンザや豚熱など） 食品添加物 残留農薬 輸入食品  
遺伝子組み換え食品 食品表示の偽装  
その他（ ）  
特に不安に思うことはない

○最後に

- ・農業や食、食文化等についてご意見があればご記入ください



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

しょくかんけい 食関係アンケート (○学校)

あてはまるものに<sup>チェック</sup>✓を入れてください。

★や、わかりにくい質問は、ご家族の人と一緒に<sup>かんが</sup>考えてもOKです！

○あなたのことを<sup>おし</sup>教えてください

①性別

男 女 回答しない

②一緒に<sup>す</sup>住んでいる家族 ※複数<sup>ふくすうえら</sup>選べます

親 兄弟・姉妹 祖父母 親戚 その他

○農業<sup>のうぎょう</sup>との関わり<sup>かか</sup>について

①農業<sup>のうぎょう</sup>について、良いイメージと悪いイメージ、どちらを持っていますか

※( )内は理由<sup>りゆう</sup>を書いてください

良い 悪い わからない

理由 ( )

②大野市<sup>おののし</sup>の農業<sup>のうぎょう</sup>や田畑<sup>たはた</sup>についてどう<sup>おも</sup>思いますか ※あてはまるもの<sup>すべて</sup>

お米や野菜<sup>こめ やさい</sup>がおいしく作<sup>つく</sup>られている 生き物<sup>いきもの</sup>や自然<sup>しぜん</sup>の保護<sup>ほご</sup>に役立<sup>やくだ</sup>っている

農作業<sup>のうぎょう</sup>や田畑<sup>たはた</sup>の風景<sup>ふうけい</sup>で季節<sup>きせつ</sup>を感じ<sup>かん</sup>じることができる 農業<sup>のうぎょう</sup>体験<sup>たいけん</sup>ができる

大野<sup>おのの</sup>らしい景色<sup>けしき</sup>をつくっている 荒<sup>あ</sup>れていると思う 農業<sup>のうぎょう</sup>が気<sup>き</sup>になる

農作業<sup>のうぎょう</sup>の音<sup>おと</sup>や、道路<sup>どうろ</sup>に落<sup>お</sup>ちているドロ・草<sup>くさ</sup>などが気<sup>き</sup>になる あまり関<sup>かん</sup>心<sup>しん</sup>がない

その他 ( )

わからない

③農作業<sup>のうぎょう</sup> (農業<sup>のうぎょう</sup>) をしたい<sup>おも</sup>いと思<sup>おも</sup>いますか

してみたい 少し<sup>すこ</sup>してみたい したくない わからない

③で「<sup>すこ</sup>してみたい」「<sup>えら</sup>少し<sup>ひと</sup>してみたい」を選<sup>えら</sup>んだ人は④～⑥に答<sup>こた</sup>えてください

④理由<sup>りゆう</sup>はなんですか ※あてはまるもの<sup>すべて</sup>

自分<sup>じぶん</sup>でお米<sup>こめ</sup>や野菜<sup>やさい</sup>を作<sup>つく</sup>ってみたい 家族<sup>かぞく</sup>や友達<sup>ともだち</sup>と楽<sup>たの</sup>しみたい 自然<sup>しぜん</sup>が好<sup>す</sup>きだから

将来<sup>しょうらい</sup>、農業<sup>のうぎょう</sup>をしたいので習<sup>なら</sup>っておきたい 農家<sup>のうか</sup> (※自分<sup>じぶん</sup>の家<sup>いえ</sup>もふくめる) のお手伝<sup>てつだ</sup>いをしたい

安心<sup>あんしん</sup>できるお米<sup>こめ</sup>や野菜<sup>やさい</sup>をつくりたい YouTube や SNS、ゲーム<sup>きょうみ</sup>などで興<sup>も</sup>味<sup>も</sup>を持ったから

その他 ( )

⑤どのような農作業をやりたい（どのような農作業ならやりたい）と思いますか

※あてはまるもの全て

- 農家（※自分の家もふくめる）の作業の手伝い  農業体験などイベントに参加  
 家の敷地の一部やプランターを利用して  決まってやりたいことはない  
 その他（ )

⑥農業に関して、いつかしてみたいと思うものはありますか ※あてはまるもの全て

- お米や野菜を作る  
 栽培の技術開発（農作業が楽になる機械や方法、安全な肥料など）  
 農作業で使う機械の利用（トラクターやコンバインの運転など）  
 商品開発（農作物を使ったスイーツや、食べられないところを使った食器など）  
 農業に関するイベントの企画（農業体験など）  
 販売（直売所やスーパーなどへ卸したり、売ったり、運営したりするなど）  
 家庭菜園  農業指導  決まってやりたいことはない  
 その他（ )

○地元産品の利用（地産地消）について

（お米）

①普段お米を食べていますか

- ほぼ毎食  1日2回  1日1回  週4～6回  週2～3回  ほとんど食べない  
 全く食べない

②お米を食べない人に聞きます。お米を食べない理由はなんですか ※あてはまるもの全て

- 自分や家族がアレルギーを持っている  米よりパンや麺が好き  食卓にでない  
 ダイエットなど体形を気にして  体の調子が悪くなることもある  特に理由はない  
 その他（ )

★③お米を食べている人に聞きます。大野市で作ったお米を食べていますか

- 食べている  食べる時もある  ほとんど食べない  どこで作られたお米かはわからない

（野菜）

①普段野菜を食べていますか

- ほぼ毎食  1日2回  1日1回  週4～6回  週2～3回  ほとんど食べない  
 全く食べない

②大野市ではどんな野菜が作られているか知っていますか

※（ ）内は知っている野菜を書いてください

- 知っている  知らない  思い出せない  
種類（ )

③大野市で作られている野菜のおいしい時期を知っていますか

よく知っている だいたい知っている あまり知らない まったく知らない

★④大野市の特産品（大野市で作られていて、多くの人を知っているもの）になったらいいなと思う農作物はありますか

※（ ）内はそう思う農作物を書いてください

ある ない わからない

種類（ \_\_\_\_\_ ）

⑤「地産地消」という言葉の意味を知っていますか

知っている 言葉だけ知っている 知らない

## ○食文化について

①あなたが知っている郷土料理（大野で昔から食べられている料理）を教えてください

※（ ）内を書いてください

（ \_\_\_\_\_ ）

知らない

②大野の食文化で知っているものを選んでください ※あてはまるものすべて

大野市の特産品 大野市の伝統的な料理や調理方法 大野市の名物グルメ

食に関する行事、祭り ※例：朝市や、特定の日に特定のものを食べること、イベントなど

知らない 思い出せない

③市外の人におすすめしたい大野市の食文化はありますか

※（ ）内にはそう思う食文化を書いてください

ある ない わからない

種類（ \_\_\_\_\_ ）

④食について気をつけていること、興味があることは何ですか ※あてはまるものすべて

食育 いろんな野菜を食べる 朝ごはんを食べる 家族と一緒に食べる

残さず食べる、食べられる分だけ食器に入れる 介護食、スマイルケア食

食品選び（作られている土地や栄養などに注意する） 料理 栽培方法

食中毒や賞味期限 旬や行事 ない

その他（ \_\_\_\_\_ ）

※食育…食について正しい知識を学び、健康的な食事の習慣を身に付けること

## ○その他

① 農業や食に関するイベントに参加したことがありますか

※例：新そばまつり、産業と食彩フェア、でっち羊かんまつり、地鮎を食す日など

ある ない

② 農業や食に関するイベントで参加してみたいものはありますか ※3つまで

郷土料理、伝統料理など食文化を残していくイベント 食品工場の見学

食品の安全性を知ることができるイベント 食品ゴミと環境に関するイベント

農業・収穫体験 参加してみたいものはない

その他 ( )

③ 大野の食で市外の人に食べてもらいたいものは何ですか ※5つまで

米 おろしそば 里芋 ネギ ナス 穴馬かぶら 穴馬スイートコーン 山菜

丸頭竜まいたけ 水 酒 醤油 味噌 豆腐やあげ 荒島ポーク 鮎

アジメドジョウ ふくい名水サーモン 半夏生鯖 醤油カツ丼 とんちゃん

けんけら でっち羊かん お惣菜(里芋のころ煮や舞茸ご飯など) 特にない

その他 ( )

④ 給食や家庭での食べ残しや食品の廃棄が発生していることについて、日ごろから「もったない」

「気を付けよう」と感じることはありますか

いつも感じている しばしば感じている 時々感じている

あまり感じていない 全く感じていない

⑤ 食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしていますか

常にしている しばしばしている 時々している あまりしていない 全くしていない

## ○最後に

・農業や食、食文化等についてご意見があればご記入ください

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。